

○事業所名	NPO法人HA-HA-HA			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		～	2024年12月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100	(回答者数)	71
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		～	2024年12月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	15

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士や作業療法士、看護師などの身体面・運動面からの支援、教育職・専門資格保持者などによる教育面からの支援、福祉職による遊びを介したコミュニケーション面の支援など、多職種による学習面で必要な要素を支援しています。	学習支援が最初に望まれがちだが、学習だけではなく、子どもにとって必要な支援を本人、保護者と選び取るように関係性の構築とコミュニケーション支援を率先して行っている。	もっと多くの活動が行える、専門性の向上や専門職の獲得、活動を支える道具やそれらを使える職員の育成など、事業所の強みをさらに強化していきたい。
2	コミュニケーション支援に根拠のある支援を取り入れています。コミュニケーション支援は意思決定だけではなく、子どもの経験を経験値として自らに積み上げる力に繋がるため、運動、学習、生活力など多方面の支援に繋げる支援を行っています。	その上で学習や運動、就学・就業、趣味・余暇などの生活の充実に向けた様々な活動ができる環境、様々な活動が支援できる専門職や多様な知識の獲得（主に職員の研修支援など）を行っている。	
3	子どもの将来に向けた支援を想像して支援を行っています。本人が自らできる環境を様々なツールや多職種により検討し、仕事を得たり、趣味などから余暇を楽しく過ごせるようになるための支援をしています。	どの支援においても自分でできる環境やスキルの獲得を念頭にステップアップを検討しています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援から放課後等デイサービスへの就学期におけるサービスの移行時、放課後等デイサービスの利用枠があまりないため、児童発達支援からの繰り上がりが難しいことが多い。	就学期などには早期から調整を行っており、最終的には事業所内での繰り上がり、他事業所の紹介などを行うなど、スムーズな移行が行われるように配慮している。	現状としてはまだそのステージにはありませんが、定員を増やしたり、事業所数でカバーする等を検討できればと考えています。